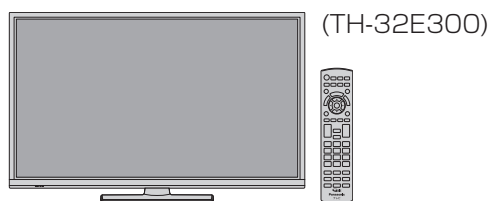
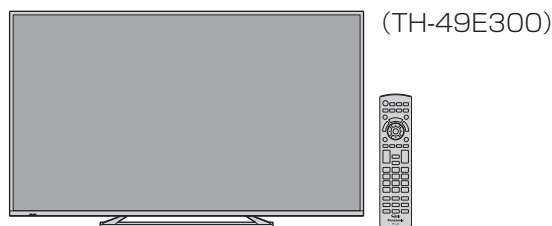


取扱説明書

地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

品番

TH-49E300 (49V型)
TH-43E300 (43V型)
TH-32E300 (32V型)
TH-24E300 (24V型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」(本書)および「ビエラ操作ガイド」
(テレビに内蔵)をよくお読みのうえ、正しく安全
にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」➡ P. 4～7を必ず
お読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入
を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管して
ください。

保証書別添付

安全上の
ご注意

> ご使用前に
必ずお読みください

準
備

> はじめに

接
続

> 機器をつなぐときは

設
定

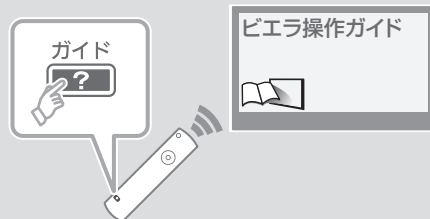
> 初期設定は

使
い
方

> 基本の操作は

必
要
な
と
き

ビエラ操作ガイドを見るには



TQB4GC1654-1
MO417-1047

マニュアルについて

本機のマニュアルは、取扱説明書(本書)と、ビエラ操作ガイド(テレビに内蔵)で構成しています。
以下を参考に、必要に応じて取扱説明書またはビエラ操作ガイドをご覧ください。

こんなことができます(本機の特長)
安全上のご注意
本機の設置／接続／初期設定
などは

▽
取扱説明書 (本書)

- 本書は2017年4月現在の情報に基づいて作成しています。

詳細な設定や操作
機能説明／困ったとき
などは



▽
ビエラ操作ガイド (テレビに内蔵)

リモコンの  を押す

- 本機の画面上で、設定や操作などの情報を見ることができます。
- ビエラ操作ガイドの使い方については ➡ P. 28

さらに、連携機器情報/サポート情報などは



当社ホームページ
(<http://panasonic.jp/viera/>)

* お手持ちのパソコンのブラウザを起動し、アドレスバーに「**viera.jp**」と入力してください。
(本機からご覧になることはできません。)

ホームページでは、本機を使用していただくための以下の情報などを掲載しています。

- 接続機器に合わせた「接続方法」や「基本の使い方」がわかる「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「動作確認情報一覧」
- ソフトウェアのバージョンアップ情報や機能情報など
- 本機の取扱説明書やビエラ操作ガイド(pdf形式)

こんなことができます

デジタル放送の視聴

本機では、地上デジタル放送・BSデジタル放送・110度CSデジタル放送が視聴できます。

➡ P. 8、17、25～27

エコナビ

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。



「いろいろな機能を設定する」
ビエラ操作ガイド

インターネット(アクトビラ)

本機をインターネットに接続すると、動画サイトにアクセスしたりできます。



「ネットワーク」
ビエラ操作ガイド

ネットワーク機器

お部屋ジャンプリンクなどのネットワーク機器を使うことができます。



「ネットワーク」
ビエラ操作ガイド

録画(録画予約)、再生

本機からディーガやUSBハードディスクなどに録画できます。



「録画する」「外部機器をつないで見る、聴く」
ビエラ操作ガイド

ビエラリンク(HDMI)

対応機器を接続すると、本機から操作したり、自動的に連動させることができます。



「外部機器をつないで見る、聴く」
ビエラ操作ガイド

「安全上のご注意」を必ずお読みください → P. 4~7

安全上の
ご注意

本機で受信できる放送	8	本機の設定	10
付属品・別売品	9	壁掛け金具の設置(別売品)	15

準
備

接続	16	映像／オーディオ機器と接続する	18
・端子部について	16	ネットワーク／ネットワーク機器と 接続する	20
・電源コードの接続	16	USB機器と接続する	21
・地上デジタル放送／衛星デジタル放送を 受信する	17		

接
続

各部の名称と働き	22	設置設定	25
・リモコン	22	・かんたん設置設定	25
・テレビ本体	24		

設
定

テレビを見る	27	ビエラ操作ガイドの使い方	28
・テレビ放送を見る	27	・テレビを操作中に 関連した説明を表示する	28
		・ビエラ操作ガイド項目一覧	29

使
い
方

文字入力について	30	取り扱いについて	35
商標などについて	32	仕様	37
故障かな!?	33	保証とアフターサービス	39

必
要
な
と
き

- 本書やビエラ操作ガイドのイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- 本書の説明イラストは、TH-49E300を元に作成しています。(品番を指定していないとき)
- 本書で使用しているアイコンとその意味

アイコン	意 味
 ビエラ操作ガイド	ビエラ操作ガイドを参照してください。
➡ P.〇〇	本書の〇〇ページを参照してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない
内容です。



実行しなければならない
内容です。



気をつけていただく
内容です。



警告

電源コード・電源プラグの 取り扱いについて



電源プラグ
を抜く

■ 異常・故障時は直ちに使用を
中止し、電源プラグを抜く



- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。



ぬれ手禁止

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因になります。



■ 傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない

■ 本機に付属のもの以外は使用しない

■ 破損するようなことはしない

- 傷つける
- 加工する
- 熱器具に近づく
- 無理に曲げる
- ねじる
- 引っ張る
- 重い物を載せる
- 束ねる など

感電やショートによる火災の原因になります。

- 修理は、販売店にご依頼ください。



■ 交流 100 V以外で使用しない

■ コンセント・配線器具の定格を超えて使わない

■ たこ足配線などをしない

発熱による火災の原因になります。



■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。



警告

電源コード・電源プラグの 取り扱いについて



■ 電源プラグのほこりなどは 定期的に取り除く

ほこりなどがた
まると、湿気など
で絶縁不良とな
り火災の原因に
なります。



- 電源プラグを抜き、乾いた布
でふいてください。



■ 内部に金属類・燃えやすいも のなどの異物を入れない

火災・感電の原因になります。

- 特にお子様にはご注意ください。



■ 不安定な場所に置かない

倒れたり、落ちたりしてけがの
原因になります。

- 台を使用する場合はぐらつき
がない堅固なものをご使用く
ださい。
- スタンド設置面は平らで十分
に強度があることを確認く
ださい。

テレビ本体の取り扱いについて



水ぬれ禁止

■ 本機の上に液体の入った容 器などを置かない

液体が内部に入ると火災・感電
の原因になります。



水場使用禁止

■ 風呂場などで使用しない

火災・感電の原因になります。



接触禁止

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プ ラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。



分解禁止

■ 裏ぶた、キャビネット、カ バーを外したり、本機を改造 しない

内部には電圧の高い部分があり、
火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売
店にご依頼ください。



高圧注意

サービスマン以外の方は、裏ぶたを
あけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、
万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

⚠ 注意

電源コード・電源プラグの 取り扱いについて



電源プラグ
を抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。



電源プラグ
を抜く

- お手入れのときは、安全のため、まず電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因になることがあります。



- 電源プラグを持って抜く
電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

テレビ本体の取り扱いについて



- 通風孔をふさがない
- スタンド使用時は、本機下面と床面との空間をふさがない
- 風通しの悪い狭い所で使用しない

- あおむけや、横倒し、逆さまにして使用しない
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かない

火災・感電の原因になることがあります。



- 強い力や衝撃を加えない
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。



- 本機の上に物を置かない、乗らない、ぶら下がらない
倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。



- 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない
火災・感電の原因になることがあります。



- 本機の上面、左右、後面は10 cm以上の間隔をおいて据え付ける
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



- 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っ掛けたりしないように処理を行う
火災・感電・けがの原因になることがあります。



- 移動させる前に接続線などを外す(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

TH-49E300 / TH-43E300



- 開梱や持ち運びは2人以上で行う
落下してけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

テレビ本体の取り扱いについて



- 通風孔に付着したゴミをこまめに取り除く
長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。
● 湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。
なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または、相談窓口までご相談ください。
➡ P. 39

スタンドの取り扱いについて



- 付属のスタンドは、本機以外には使用しない
けがの原因になることがあります。



- スタンドは、指定の手順以外で組み立てない、取り外さない
倒れてけがの原因になることがあります。
➡ P. 10～14



- 付属の転倒・落下防止部品を使用して固定する
➡ P. 11～14
- ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止める
転倒・落下によるけがの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて



- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しない
- 日光、火などの過度な熱にさらさない
- 極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れない
取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
● 挿入指示通り正しく入れてください。 ➡ P. 23



- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す
液もれ・発熱・発火・破壊などを起こし、火災や周囲を汚損する原因になることがあります。

アンテナの設置について



- アンテナ工事は、販売店に相談する
アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
● 送配電線から離れた場所に設置してください。
● BS、CS放送受信用のアンテナは、強風の影響を受けやすいので、しっかり取り付けてください。

壁掛け設置について



- (工事専門業者様へ)
- 壁掛け設置のための取り付け金具を使用するときは、施工説明書に従って取り付ける
落下してけがの原因になることがあります。

本機で受信できる放送

- 本機では4K放送は受信できません。
- 本機ではワンセグ放送は受信できません。

地上デジタル放送

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

衛星(BS・110度CS)放送

■ BSデジタル放送

放送衛星(ブロードキャスティング サテライト Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

WOWOW(ワウワウ)やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。

■ 110度CSデジタル放送

通信衛星(コミュニケーションズ サテライト Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。

110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。

ケーブルテレビ(CATV)

- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

付属品・別売品

付属品

リモコン

(品番:N2QAYB001091)

➡ P. 22



< >は個数です。

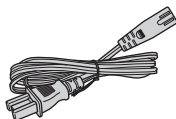
単3形乾電池 <2>

➡ P. 23



電源コード

➡ P. 16



ビーキャス B-CASカード

➡ P. 17



スタンド(一式)

➡ P. 10~14

転倒・落下防止部品(一式)

➡ P. 10~14

取扱説明書



別売品

別売品については、お買い上げの販売店へご相談ください。

● 壁掛け金具

本機を壁掛け設置するときに使用します。

➡ P. 15

● 接続ケーブル・コード

本機と外部機器を接続するときに使用します。

➡ P. 17~21

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<http://jp.store.panasonic.com/>



準
備

本機で受信できる放送／付属品・別売品

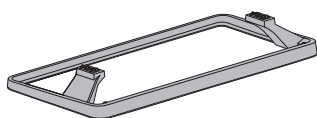
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- ご相談、お問い合わせの際は、お客様のテレビの品番(本書の表紙に記載の TH-○○○○○)をお伝えください。
- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。

本機にはスタンドを付属しています。スタンドをご使用の際は、「スタンドの取り付け」をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

- 長さが12 cm以上(グリップ部を除く)のプラスドライバー(市販品)をご用意ください。
- ねじは、まっすぐに締めてください。ねじを斜めに締めると、ねじ山が破損するおそれがあります。

構成部品

スタンド本体



< >は個数です。

スタンド金具 <2>



組み立て用ねじ

金具固定用ねじ(黒) < 4 >  (M5×15)

本体固定用ねじ(黒) < 4 >  (M4×12)

転倒・落下防止部品

B-CASカードと同じ袋に入っています。

ベルト



ねじ(黒)



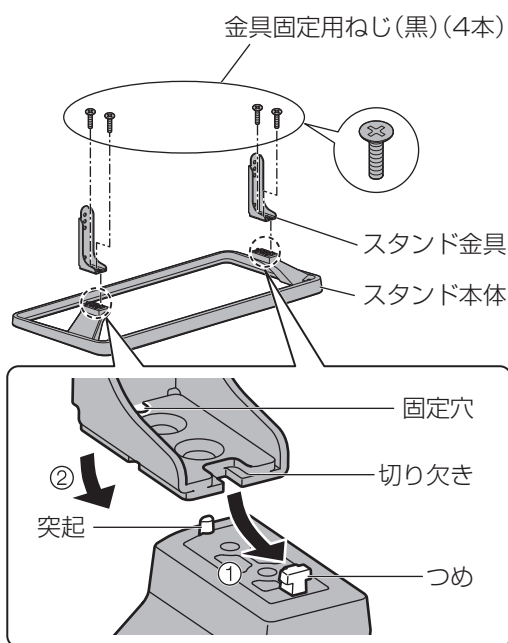
木ねじ(シルバー)



スタンドの取り付け

1 スタンド金具を取り付ける

- (1) スタンド本体のつめにスタンド金具の切り欠きをひっかけ(①)、スタンド本体の突起にスタンド金具の固定穴を合わせてはめこむ(②)。
- スタンド金具がつめの上に乗り上げないように注意してください。
- (2) スタンド金具を押さえながら金具固定用ねじ(4本)を軽く締め、その後しっかりと締め付けて固定する。

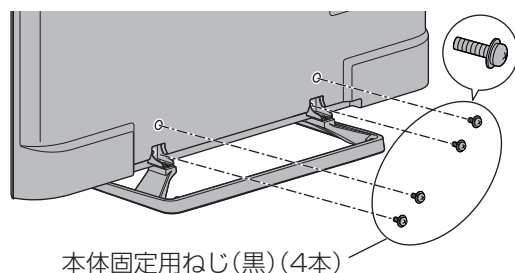
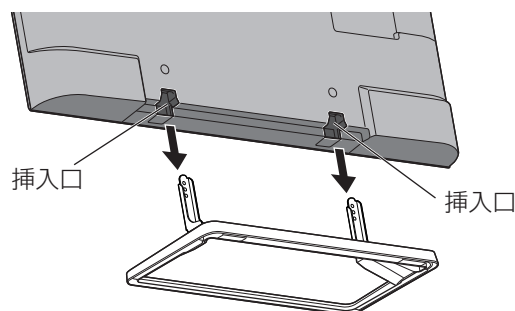


2 テレビ本体を取り付ける

取り付けは、必ず2人以上で行ってください。

テレビ本体を包装箱から出してスタンドに取り付けます。

- (1) テレビ本体の挿入口に止まる位置まで差し込む。
- (2) 本体固定用ねじ(4本)を使って、しっかりと固定する。



■取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒・落下防止

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

- 転倒・落下防止処置は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
付属品の転倒・落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

1 スタンドにベルトを取り付ける

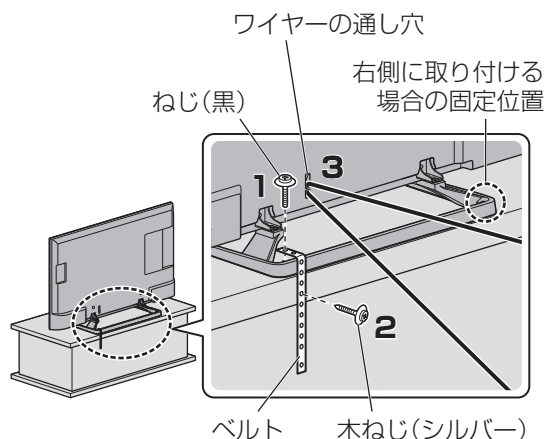
スタンドの左右どちらでも取り付けできます。

2 テレビ台に固定する

テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付けてください。

3 壁面に固定する

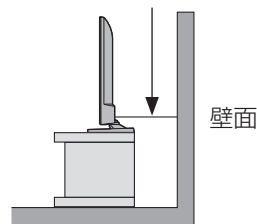
テレビ本体の通し穴に、ワイヤー(市販品)などを通して固定してください。



- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

<横から見た図>

ワイヤーなど



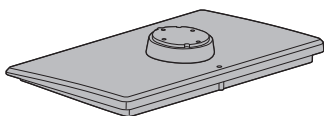
本機にはスタンドを付属しています。スタンドをご使用の際は、「スタンドの取り付け」をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

- 長さが12 cm以上(グリップ部を除く)のプラスドライバー(市販品)をご用意ください。
- ねじは、まっすぐに締めてください。ねじを斜めに締めると、ねじ山が破損するおそれがあります。

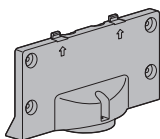
構成部品

< >は個数です。

スタンド本体



スタンドブラケット



組み立て用ねじ

ブラケット固定用ねじ(黒)<3>



本体固定用ねじ(黒)<4> (M4×15)



転倒・落下防止部品

B-CASカードと同じ袋に入っています。

ベルト



ねじ(黒)



木ねじ(シルバー)



スタンドの取り付け

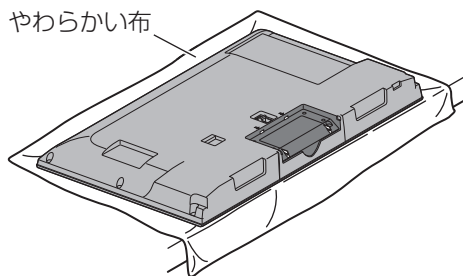
1 組み立てる準備をする

スタンドとテレビ本体を包装箱から出し、前面を下にして、汚れや異物がついていない、きれいなやわらかい布を敷いた机などの作業台の上に置く。

- 包装箱の前側を作業台に向けてテレビ本体などを取り出してください。
- テレビ本体よりも大きいしっかりした作業台を使用してください。

- テレビ本体を持つときは、液晶パネル部分を持たないでください。
- テレビ本体のキズや破損に注意してください。

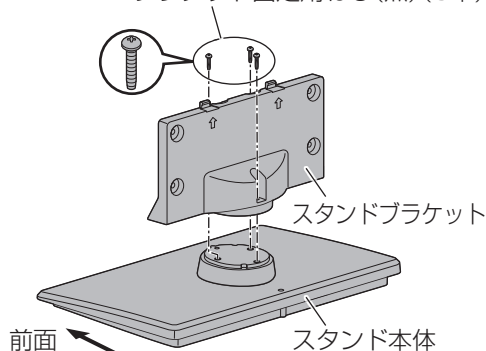
やわらかい布



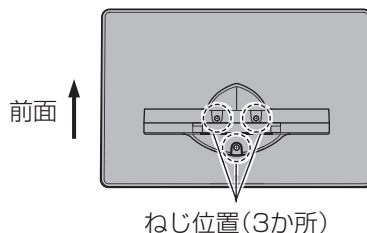
2 スタンドを組み立てる

- (1) スタンドブラケットをスタンド本体にすき間なく取り付ける。
- (2) スタンドブラケットが倒れないように手で支えながらブラケット固定用ねじ(3本)を軽く締め、その後しっかりと締め付けて固定する。

ブラケット固定用ねじ(黒)(3本)

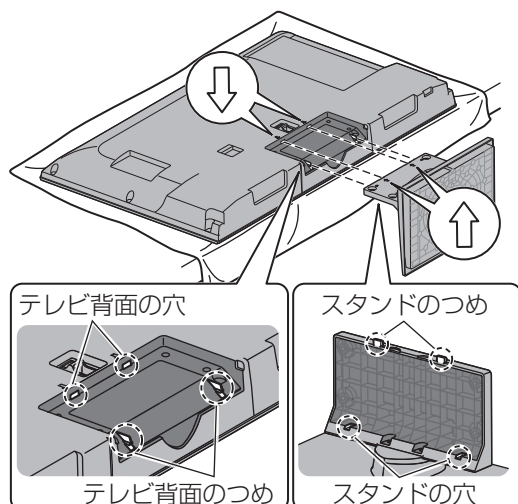


< スタンドを上から見た図 >

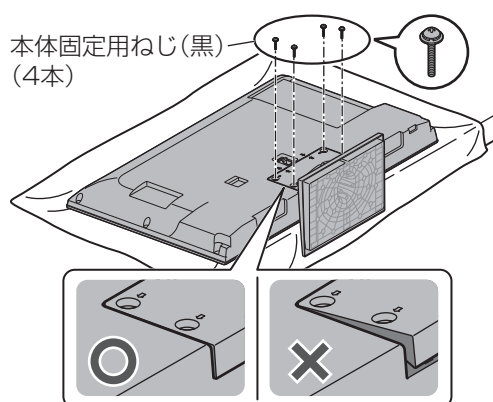


3 スタンドをテレビに取り付ける

- (1) 矢印の刻印(⇓)(⇑)を目印に、穴とつめを合わせ、スタンドが止まる位置まで、しっかり差し込む。



- (2) 本体固定用ねじ(4本)を軽く締め、本体とスタンドの間に大きなすき間がないことを確認し、その後しっかりと締め付けて固定する。



- テレビ本体を起こして設置してください。

■取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。

- 取り外すときも、テレビ本体は、前面を下にして、きれいなやわらかい布を敷いた作業台の上に置いてください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒・落下防止

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

- 転倒・落下防止処置は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
付属品の転倒・落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

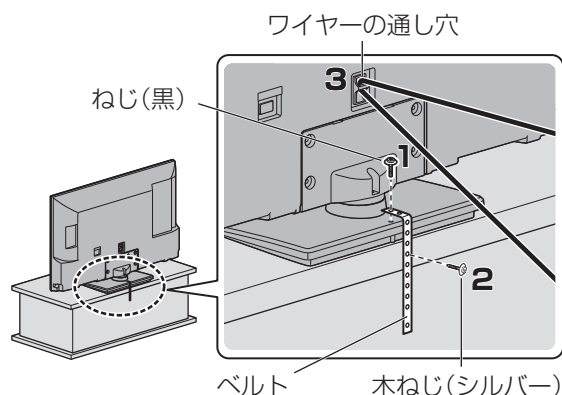
1 スタンドにベルトを取り付ける

2 テレビ台に固定する

テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付けてください。

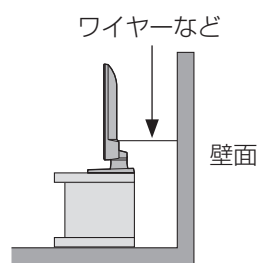
3 壁面に固定する

テレビ本体の通し穴に、ワイヤー(市販品)などを通して固定してください。



- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

<横から見た図>



本機の設置

TH-24E300

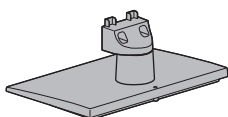
本機にはスタンドを付属しています。スタンドをご使用の際は、「スタンドの取り付け」をよくお読みのうえ、しっかりとテレビ本体へ取り付けてご使用ください。

- 長さが12 cm以上(グリップ部を除く)のプラスチックドライバー(市販品)をご用意ください。
- ねじは、まっすぐに締めてください。ねじを斜めに締めると、ねじ山が破損するおそれがあります。

構成部品

スタンド

< >は個数です。



B-CASカードと同じ袋に入っています。

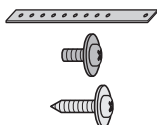
本体固定用ねじ(黒) <2>  (M4×12)

転倒・落下防止部品

ベルト

ねじ(黒)

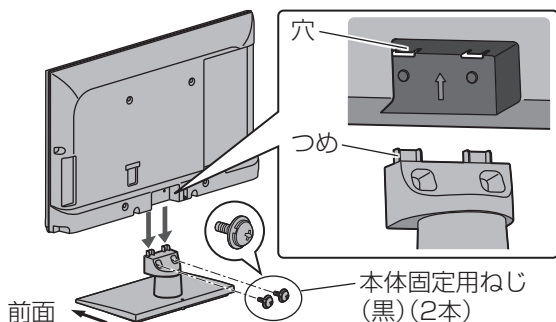
木ねじ(シルバー)



スタンドの取り付け

テレビ本体を包装箱から出してスタンドに取り付けます。

- (1) テレビ本体背面の穴とスタンドのつめを合わせ、テレビ本体を止まる位置まで差し込む。
- (2) 本体固定用ねじ(2本)を軽く締め、水平になるように調整し、その後しっかりと締め付けて固定する。



■取り外しかた

テレビ本体の包装箱に収納するときなどは、電源コードやアンテナ線、機器間の接続線、転倒・落下

防止部品を外したあと、必ず「スタンドの取り付け」の逆の手順でスタンドを取り外してください。

- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。

転倒・落下防止

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。

- 転倒・落下防止処置は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。
付属品の転倒・落下防止部品、壁面への固定部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。
- テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

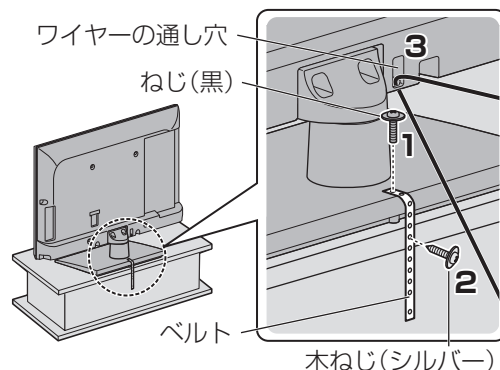
1 スタンドにベルトを取り付ける

2 テレビ台に固定する

テレビ台やラックの取扱説明書の指示に従って取り付けてください。

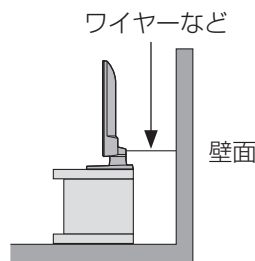
3 壁面に固定する

テレビ本体の通し穴に、ワイヤー(市販品)などを通して固定してください。



- しっかりとした壁や柱に取り付けてください。

<横から見た図>



壁掛け金具の設置 (別売品)

別売の壁掛け金具を取り付けて設置することができます。本機を設置する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。また、本機専用の壁掛け金具を必ずご使用ください。

壁掛け金具 (2017年4月現在)

TH-49E300 / TH-43E300 / TH-32E300

品番: TY-WK3L2R

● 角度を0° (垂直)、下向き5°、10°、15°、20°に変更できます。

TH-24E300

品番: TY-WK23LR2

● 角度を上向き5°から下向き10°の範囲で変更できます。

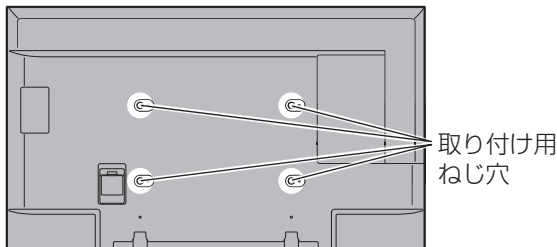
壁掛け設置について

壁掛け金具の施工説明書も併せてご覧ください。

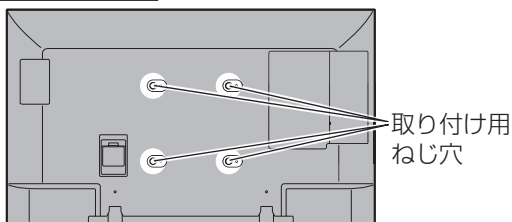
■ 壁掛け金具取り付け用ねじ穴 (4か所)

<テレビ本体背面>

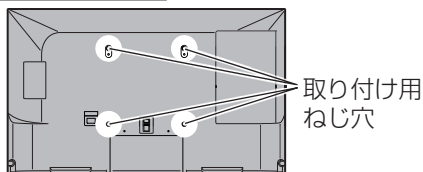
TH-49E300



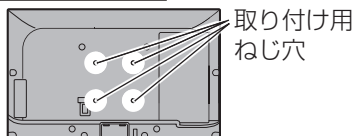
TH-43E300



TH-32E300



TH-24E300



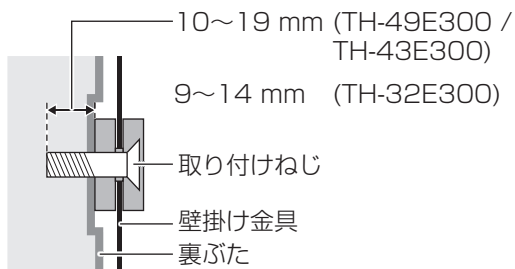
■ 取り付けねじについて

別売の壁掛け金具に付属している取り付けねじ以外は、使用しないでください。

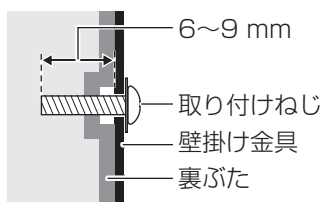
壁掛け金具に付属の取り付けねじは、取り付け面からの長さが以下のように設定されています。

<取り付け部断面図>

TH-49E300 / TH-43E300 / TH-32E300



TH-24E300



お願い

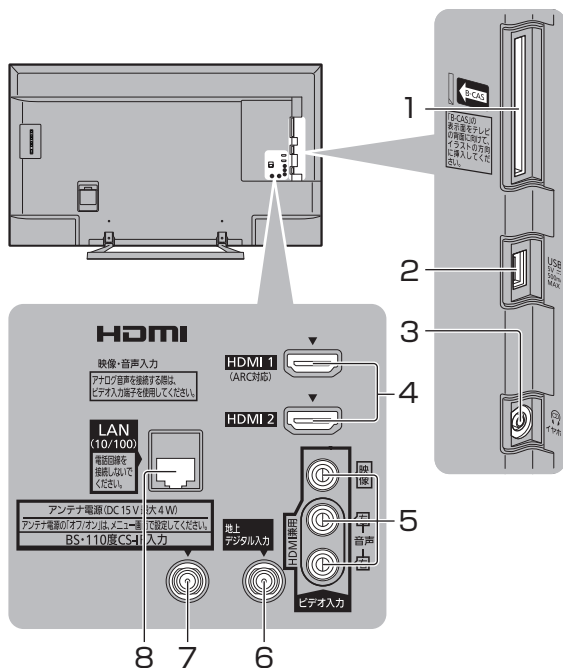
- 壁掛け金具の取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 設置時、衝撃などによって本機が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した部品類は、元に戻す場合に必要となりますので大切に保管してください。
- 先端部の長いケーブルを使用するときは、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることがあります。このような場合は、ケーブルの先端が壁面に干渉しないよう、壁掛け金具の角度を調整してください。

準備

本機の設置 / 壁掛け金具の設置 (別売品)

接続

端子部について



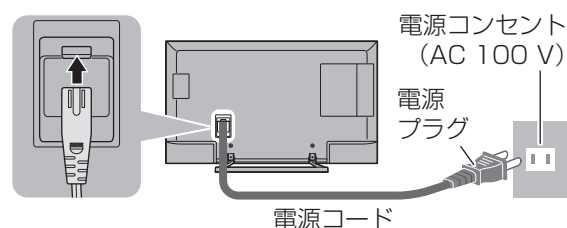
- 1 B-CASカード挿入口 ➡ P. 17
- 2 USB端子 ➡ P. 21
- 3 ヘッドホン／イヤホン端子
(ステレオ:M3プラグ)
- 4 HDMI 1～2端子 ➡ P. 18、19
- 5 ビデオ入力端子 ➡ P. 19
- 6 地上デジタルアンテナ接続端子 ➡ P. 17
- 7 BS・CSアンテナ接続端子 ➡ P. 17
- 8 LAN端子 ➡ P. 20

電源コードの接続

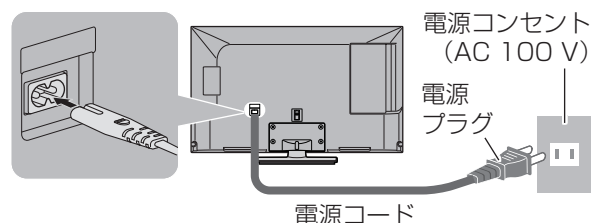
本体背面に、奥までしっかり差し込んでください。

- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 電源プラグは、すべての接続が完了してから電源コンセントに差し込んでください。
- 電源コードを外すときは、必ず、電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。

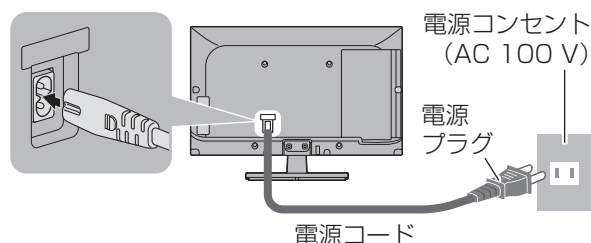
TH-49E300 / TH-43E300



TH-32E300



TH-24E300



お知らせ

- 説明に出てくる外部機器やケーブルなどは、本機の付属品ではありません。
- ケーブルの先端部および機器の形によっては、背面や側面の端子に接続できないことがあります。

各機器の接続については、以下のホームページでも確認できます。

<http://panasonic.jp/support/mpi/connectionnavi/>

本機で動作確認済みの機器については、以下のホームページで確認できます。

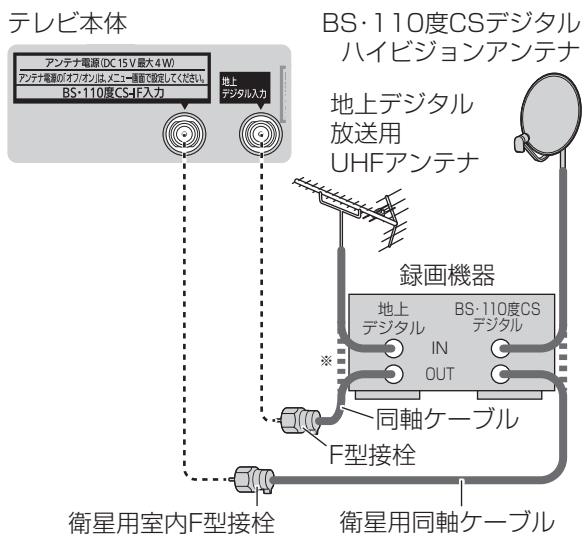
<http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html>

地上デジタル放送／衛星デジタル放送を受信する

アンテナ端子の接続

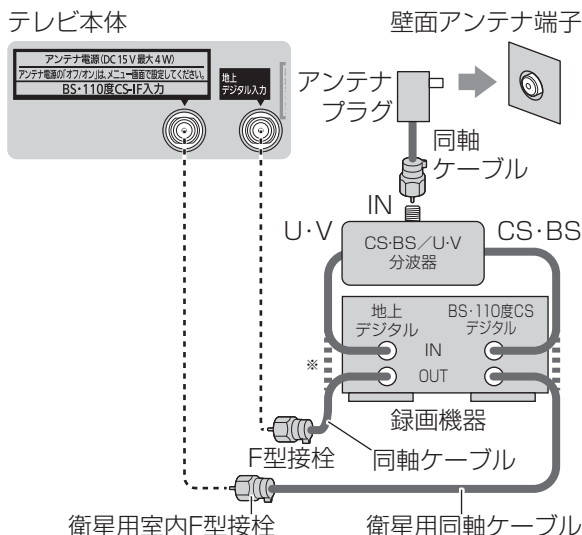
- 接続図は一般的な例であり、接続方法によって新たにご準備いただくものは変わります。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

■一戸建てなど、個別のアンテナで受信する



※ 録画機器を中継しない場合は、.....のように直接本機に接続してください。

■マンションなど、共同のアンテナで受信する

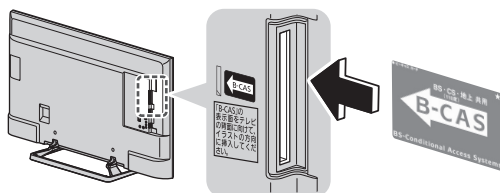


※ 録画機器を中継しない場合は、.....のように直接本機に接続してください。

ビーキャス

B-CASカードを挿入する

- 本体の電源が切れていることを確認してから、B-CASカードを挿入してください(カードの向きに注意して止まるまで押し込む)。
- カード、台紙に記載の文面および「使用許諾契約約款」をよくお読みのうえ、必ず挿入してください。
挿入しないとデジタル放送が映りません。

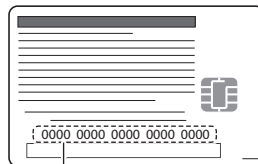


■B-CASカードを抜くとき

- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
- (1) 本体の電源ボタンで電源を切る。
 - (2) B-CASカードを抜く。

B-CASカードについて

B-CASカード



B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。P. 39「保証とアフターサービス」の記入欄にメモしておいてください。

B-CASカードについてのお問い合わせ(故障交換や紛失時など)は

(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250

かんたん設置設定については

➡ P. 25、26

操作については



ビエラ操作ガイド

「テレビを見る」

接
続

接
続

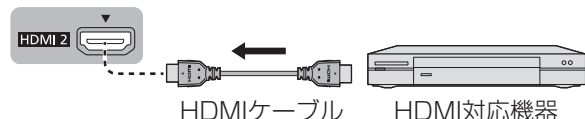
映像／オーディオ機器と接続する

HDMI端子の接続

HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。

■ HDMI対応の再生機器を接続する

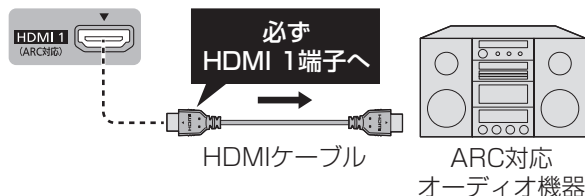
テレビ本体



■ アンプなど、ARC(オーディオリターンチャンネル)対応のオーディオ機器を接続する

- ARC(オーディオリターンチャンネル)とは、HDMI端子からデジタル音声信号を送る機能です。

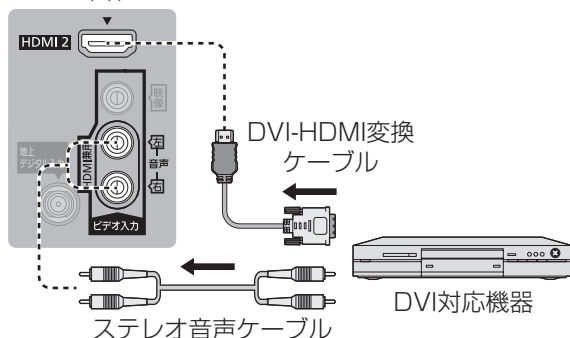
テレビ本体



■ DVI対応の再生機器を接続する

- DVI出力端子がある機器は、変換ケーブルを使ってHDMI端子に接続することができます。その場合、ビデオ入力の音声入力端子にも音声ケーブルを接続し、入力切換ボタンでHDMI入力に切り換え、「HDMI音声入力設定」(メニュー→音声調整)で、接続したHDMI端子の項目を「アナログ」に設定してください。

テレビ本体



HDMI端子の接続(ビエラリンク対応機器)

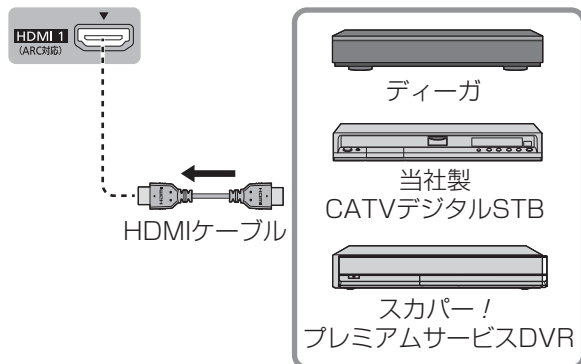
本機とビエラリンク対応機器をHDMIケーブルで接続すると、ビエラリンクをお楽しみいただくことができます。

- HDMIケーブルは、当社製を推奨します。
HDMI規格に準拠していないケーブルでは、動作しません。
- 同じ種類の機器を接続した場合、本機からビエラリンクで操作できるのは、番号の小さいHDMI端子に接続した機器1台のみです。(例えば、2台のブルーレイディスクプレーヤーをHDMI 1とHDMI 2に接続すると、HDMI 1に接続したブルーレイディスクプレーヤーのみ、ビエラリンクで操作することができます。)

■ ビエラリンクで録画に使う機器を接続する(ディーガなど)

- 本機の番組表から録画予約できるのは、ディーガのみです。

テレビ本体



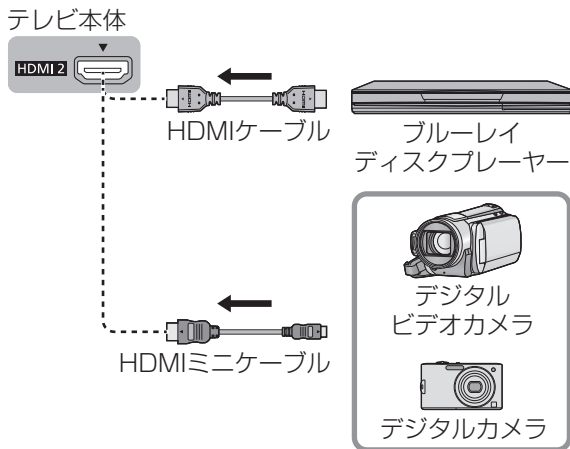
設定や操作については



ビエラ操作ガイド

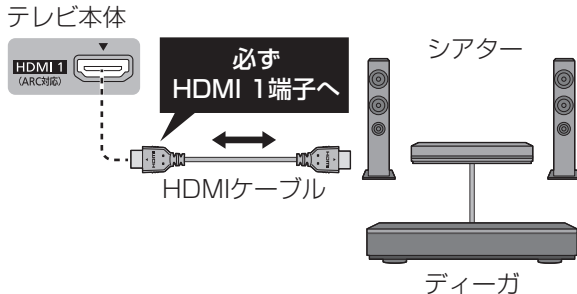
「外部機器をつないで見る、聴く」

■ ビエラリンクで再生のみに使う機器を接続する



■ ビエラリンクで操作するシアター機器を接続する

- シアターは、ラックシアターやサウンドセットなど当社製機器の総称です。
- この接続はARC(オーディオリターンチャンネル)対応のシアターの例です。
- シアターは、本機とディーガの間に接続します。

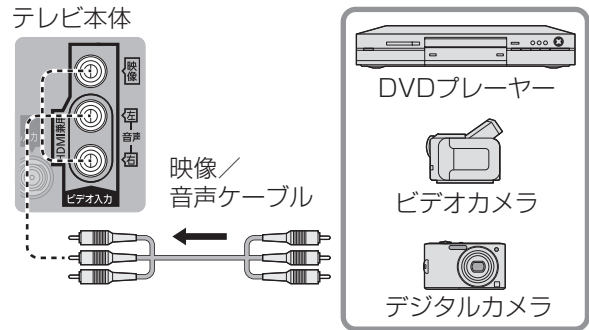


ビデオ入力端子の接続

DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。

- 接続する機器によっては、専用ケーブルが必要な場合があります。

■ 映像・音声端子に接続する



接
続

接
続

設定や操作については



ビエラ操作ガイド

「外部機器をつないで見る、聴く」

ネットワーク／ネットワーク機器と接続する

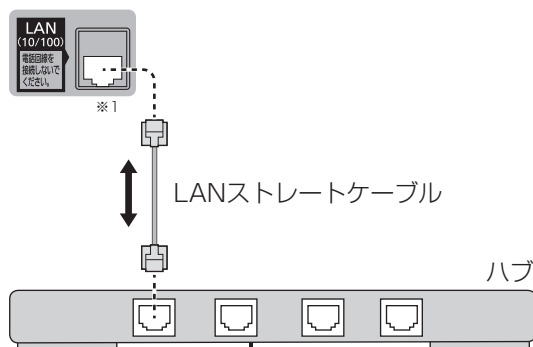
本機とネットワークの接続

すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、下記の接続を行ってください。

- 初めて本機を使用するときは、かんたん設置設定でネットワーク接続の設定を行います。

■ インターネット、ホームネットワークに接続する

テレビ本体



ブロードバンド接続環境

- 通信端末(モデムなど)にルーター機能がないときは、ブロードバンドルーターをご使用ください。
- 電話回線接続でのインターネット接続の場合、双方向(データ放送)サービスはご利用になれません。

インターネットへ

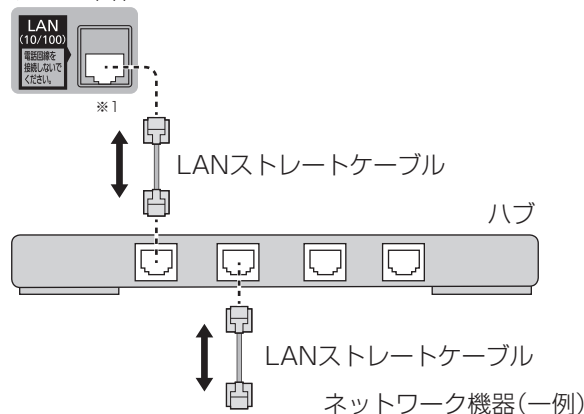
本機とネットワーク機器の接続

ネットワーク機器を接続すると、お部屋ジャンプリンクやダビングなどのネットワーク機能が使えます。本機にハブまたはブロードバンドルーターを接続し、各ネットワーク機器を接続してください。

- 接続については、ネットワーク機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

■ ネットワーク機器にハブ経由で接続する

テレビ本体



- ※1 有線LANで公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備(有線LANルーター、回線端末装置)に接続してください。
- ※2 お部屋ジャンプリンクを使用するときの機器です。お部屋ジャンプリンクの詳細については以下のホームページで確認できます。
<http://panasonic.jp/jumplink/>

設定や操作については

「ネットワーク」

ビエラ操作ガイド

USB機器と接続する

USB端子の接続

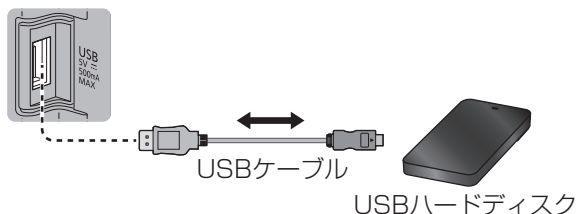
USB機器を接続し、コンテンツ再生や番組録画などができます。

- USBハードディスクなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器を接続しないでください。
- USBハードディスクは、当社にて動作確認をしているものをお使いください。
すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。
動作確認機器については、以下のホームページをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/tv/connect/index.html>
- USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。
- 録画や再生中など、USB機器の使用中は、本体の電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、USB機器を外したりしないでください。機器の故障やデータの破壊の原因となります。

■ 番組録画用USBハードディスクを接続する

- USBハブを使って複数のUSBハードディスクを同時に接続することはできません。
(本機に登録できるUSBハードディスクは8台ですが、一度に使用できるUSBハードディスクは1台です。)

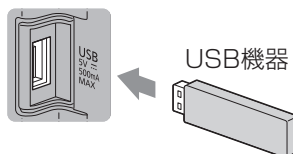
テレビ本体



本機でお使いいただく録画用USBハードディスクは、本機専用として使用してください。(本機で登録した後に他の機器で使用するには、再フォーマットが必要になり、データがすべて消えてしまいます。)

■ メディアプレーヤーで再生するUSB機器を接続する

テレビ本体



接
続

接
続

設定や操作については

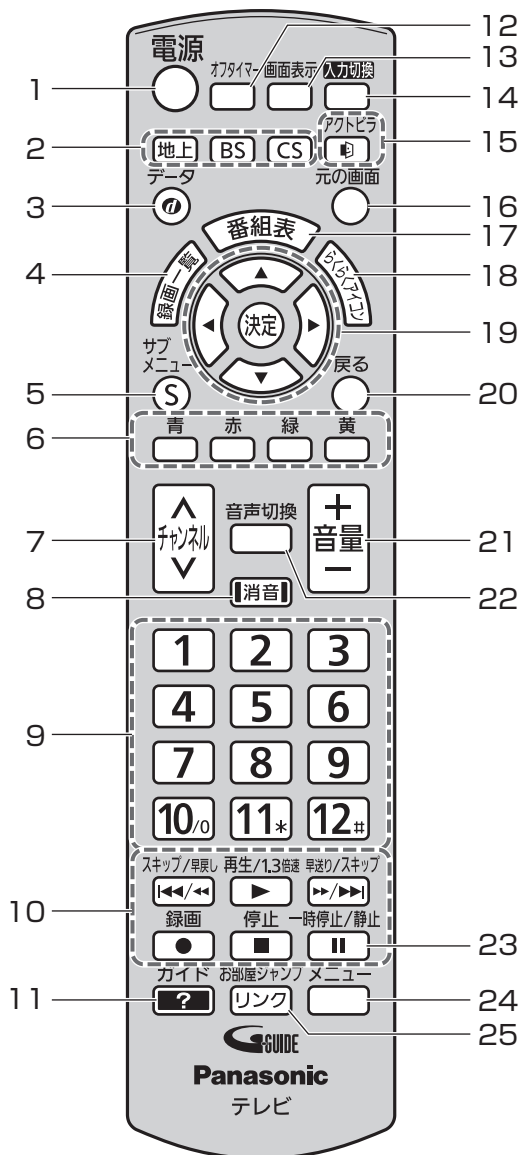


ビエラ操作ガイド

「外部機器をつないで見る、聴く」
「録画する」
「メディアプレーヤー」

各部の名称と働き

リモコン



- 1 テレビ本体の電源「入」状態で、電源を「入」「切」する
 - 2 放送を切り換える(放送切替ボタン)
見ない放送のボタンを使えないようにできます。
(BS・CSのみ)
 - 3 データ放送を表示する
 - 4 録画一覧を表示する
 - 5 サブメニューを表示する
 - 6 画面の指示に従って使う(カラーボタン)
 - 7 チャンネルを順送りで選ぶ
 - 8 音を一時的に消す
(もう一度押すと解除)
 - 9 チャンネルを直接選ぶ ➡ P. 27
文字を入力する ➡ P. 31
 - 10 ディーガやUSBハードディスクなどの外部機器を操作する
 - 11 ビエラ操作ガイドを表示する ➡ P. 28
 - 12 自動的に電源を切りたいときに設定する
(押して時間を選ぶ)
 - 13 番組のタイトルなどを表示する
 - 14 外部入力に切り換える
(ディーガ・DVDなど)
 - 15 アクトビラの画面を表示する
 - 16 テレビ画面に戻る
 - 17 番組表*を見る
 - 18 らくらくアイコンを使う
 - 19 画面上で選ぶ／決定する
- 上へ 左へ 右へ 下へ

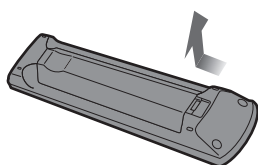
決定 決定

決定する (次の画面へ)
- 20 1つ前の画面に戻る
 - 21 音量を調整する
(画面下に音量を表示)
 - 22 2か国語などを切り換える
 - 23 テレビ視聴中に画面を静止させる
(もう一度押すと解除)
 - 24 メニュー画面を表示する
音声ガイドを設定する(3秒以上押す)
 - 25 お部屋ジャンプリnkを使用する

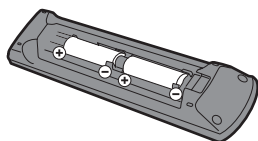
※ 本機の番組表はGガイドを使用しています。

電池の挿入

1 電池挿入部のふたを開ける。



2 単3形乾電池(付属品)を⊖側から入れ、電池挿入部のふたを閉める。



リモコンモードの設定

本機の近くに別の当社製テレビがあるとき、リモコンの操作をすると別のテレビが動作してしまうことがあります。同時に動作することを防ぐには、リモコンモードを変更してください。

(1) テレビ本体のリモコンモードを、「受信リモコンモード設定」(リモコン→機器設定→設置設定→リモコン設定)で設定する。

(2) リモコンのモードを、(1)の設定と同じになるように切り換える。

• リモコンモード1に設定するには

[消音] **[決定]** **[1]** を同時に3秒以上押す

• リモコンモード2に設定するには

[消音] **[決定]** **[2]** を同時に3秒以上押す

(3) テレビ本体のリモコン受信部に向けて **[決定]** を押す。

■ 受信リモコンモードを初期設定(リモコンモード1)にリセットする

リモコンモード2の設定でお使いのとき、以下の手順で、テレビ本体の受信リモコンモードを初期設定(リモコンモード1)に変更することができます。

リモコンを紛失したときなどにご活用ください。

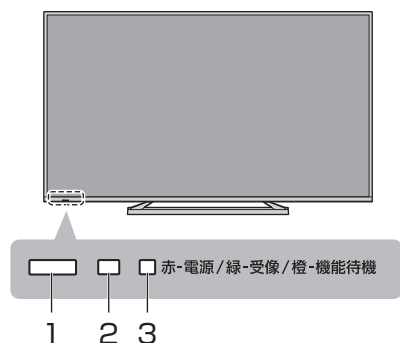
- ① リモコンモード1に設定された、別のパナソニック製テレビのリモコンを用意する。
- ② 用意したリモコンをテレビ本体に向け、消音ボタンを約5秒間押す。
- ③ リモコンモード強制リセットの確認画面が表示されたら、再度、消音ボタンを約3秒間押す。

お願い

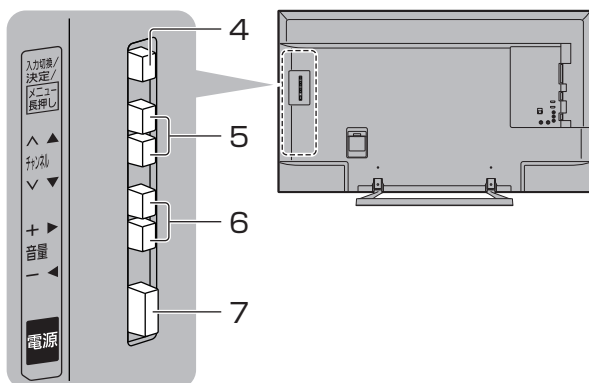
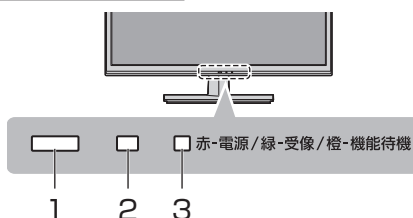
- テレビ本体のリモコン受信部に向けて操作してください。 ➡ P. 24
- テレビ本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 故障の原因になりますので、リモコンを落とさないように、また、水などの液体をかけないようにご注意ください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

各部の名称と働き (続き)

テレビ本体



TH-24E300



1 リモコン受信部

リモコンは、この部分に向けて操作してください。

2 明るさセンサー

「明るさオート」に対応して、映像を調節するための受光部です。

3 電源ランプ

電源「入」時は、緑色点灯します。

(テレビ起動中は点滅)

リモコンで電源「切」時は、赤色点灯します。

ただし、機能待機中※は橙色点灯します。

本体で電源「切」時は、消灯します。

- 電源ランプ点灯中にリモコン操作すると、点滅します。

※ 録画中、ダビング中、データ取得時など

4 入力切替ボタン

放送を切り換えます／外部入力にします。

メニューボタン

長押しすると、メニュー画面が表示されます。

決定ボタン(メニュー操作時)

5 チャンネルボタン

チャンネルを順送りで選びます。

上下カーソルボタン(メニュー操作時)

6 音量ボタン

音量を調整します。

左右カーソルボタン(メニュー操作時)

7 電源「入」「切」ボタン

「入」で電源ランプが緑色点灯し、リモコン操作が可能になります。

設定や操作については



ビエラ操作ガイド

「いろいろな機能を設定する」

お願い

- 明るさセンサーやリモコン受信部の前にもものなどを置かないでください。
- リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

お知らせ

- 4、5、6のボタンを押すと、画面右端に操作ボタンのガイドが約3秒表示されます。(操作中のボタンが黄色で表示されます。)
- 電源「切」時の場合も、一部の回路は通電しています。
- 本体とリモコンのリモコンモードが違っていると、リモコンの電源ボタンを押しても、電源ランプは点滅しますが電源の「入」「切」はできません。リモコンモードを変更してください。 ➡ P. 23

設置設定

かんたん設置設定

ご購入後、初めて本機の電源を入れると、「かんたん設置設定」画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

- 外部機器と接続する場合は、「かんたん設置設定」を実施する前に、接続を済ませてください。

➡ P. 16～21

- それぞれの設定は、後から変更することができます。

電源プラグを電源コンセントに差し込み、電源ボタンで本機の電源を入れる



- 画面の指示に従って、リモコンで操作してください。

かんたん設置設定をやり直す

引越などテレビ放送の受信地区が変わったときや、受信状況が変わったときなどに必要な設定をやり直すことができます。

- 各設定内容は、メニュー画面から個別に変更することもできます。

- (1)  を押す。
- (2) 「機器設定」を選び、 を押す。
- (3) 「かんたん設置設定」を選び、 を押す。

画面の指示に従って操作してください。

- ネットワーク接続設定をする場合は、メニュー画面から設定してください。

( → ネットワーク設定)

■お買い上げ時の状態からやり直す

- ① 「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、 を押す。
- ② 本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

受信チャンネルを再設定する

テレビ放送をスキャンし直してチャンネル設定を変更したり、新しく開局した放送局を追加したり、チャンネルをお好みで設定し直すことができます。

- (1)  を押す。
- (2) 「機器設定」を選び、 を押す。
- (3) 「設置設定」を選び、 を押す。
- (4) 「チャンネル設定」を選び、 を押す。
- (5) 再設定する放送を選び、 を押す。

以降は、画面の説明を確認しながら設定してください。

■地上デジタル放送の設定方法について

初期スキャン 受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

再スキャン 地上デジタル放送の受信状況が変わったときや新しい放送局が開局したときなどに、受信できる放送局を自動で追加します。

マニュアル 地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。

<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html>

テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-○○○○」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ。

チャンネル設定の詳細については



ビエラ操作ガイド

「いろいろな機能を設定する」

ネットワーク接続の設定については



ビエラ操作ガイド

「ネットワーク」

設置設定 (続き)

受信レベルを確認する

個別のアンテナで受信しているとき、アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとの受信レベル（受信する電波の質）を確認することができます。

● 受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。また、受信レベルは、天候、季節、地域、チャンネル、アンテナシステムの条件などにより変動することがありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。

● アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

- (1) を押す。
- (2) 「機器設定」を選び、 を押す。
- (3) 「設置設定」を選び、 を押す。
- (4) 「受信設定」を選び、 を押す。
- (5) 設定する放送を選び、 を押す。

■地上(地上デジタル放送)

アッテネーターを設定したり、受信レベルが最大になるように調整します。

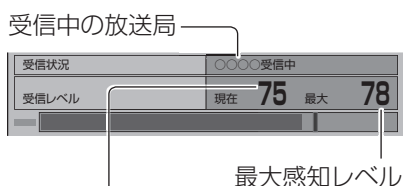
①「物理チャンネル選択」で、調整する物理チャンネルを選ぶ。

地上デジタル放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

②必要であれば「アッテネーター」を設定する。

放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。

③受信レベルを確認し、必要であればアンテナの向きを調整する。



現在のアンテナ入力レベル
(受信の目安は44以上)

■衛星(衛星デジタル放送)

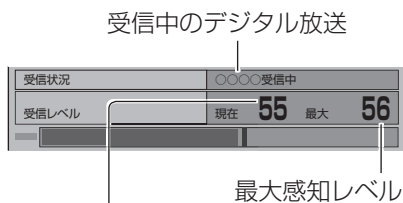
アンテナ電源の「オン」「オフ」を設定したり、受信レベルが最大になるように調整します。

①「アンテナ電源」を設定する。

個別の衛星アンテナで受信しているときなど、本機から衛星アンテナのコンバーターに電源を供給する必要があるときは、「オン」に設定します。ブースターなどからコンバーターに電源を供給しているときは、「オフ」に設定します。

②受信レベルを確認し、必要であればアンテナの向きを調整する。

BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は、受信状況に「他の衛星受信中」と表示されます。再度、アンテナの向きを調整してください。



現在のアンテナ入力レベル
(受信の目安は50以上)

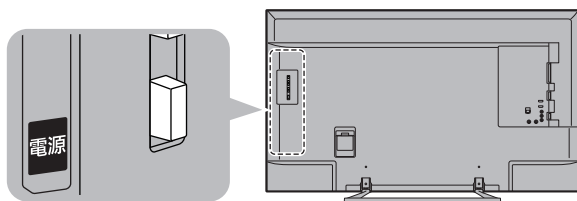
受信設定の詳細については



「いろいろな機能を設定する」

テレビを見る

電源を入れる



または



テレビ本体の電源が「入」のとき
(電源ランプが赤色、または橙色点灯中)

テレビ放送を見る

1 放送の種類を選ぶ。

地上 BS CS

2 チャンネルを選ぶ。

1 2 3
4 5 6
7 8 9
10/0 11# 12# または チャンネル

3 音量を調整する。

+
音量
-

■ 番組表から番組を選んで見るには

- (1) テレビを視聴中に **番組表** を押す。
- (2) 放送の種類(**地上** **BS** **CS**)を選ぶ。
- (3) 番組を選び、**決定** を押す。
- (4) 「今すぐ見る」または「見るだけ予約」を選び、**決定** を押す。
 - 今すぐ見る：
放送中の番組を選んだときに表示されます。選んだ番組に切り換わります。
 - 見るだけ予約：
放送予定の番組を選んだときに表示されます。テレビ放送を視聴中に放送時刻になると、選んだ番組に切り換わります。



今すぐ見る

番組視聴、録画・再生の設定や操作については



ピエラ操作ガイド

「テレビを見る」
「外部機器をつないで見る、聴く」
「いろいろな機能を設定する」
「録画する」「メディアプレーヤー」

設定

使い方

設置設定／テレビを見る

ビエラ操作ガイドの使い方

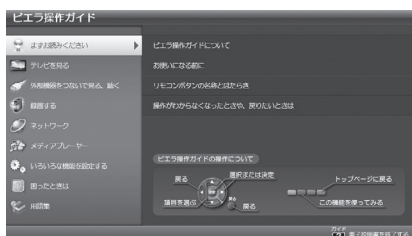
ビエラ操作ガイドとは、テレビに内蔵の電子説明書です。本機の画面上で、設定や操作、解説などの情報を見ることができます。

- 1 **ガイド**  を押してビエラ操作ガイドを表示する。



「前回表示していた説明ページへ戻る」または「トップページを表示する」の選択画面が表示されたときは、どちらかを選んでください。

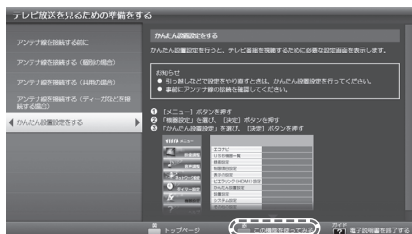
- 2 項目を選ぶ。



■ 操作画面に直接切り換える

ビエラ操作ガイドに「この機能を使ってみる」が表示されている場合は、実際の操作画面に、直接切り換えることができます。

赤  を押す。



この機能を使ってみる

■ トップページに戻る

黄  を押す。

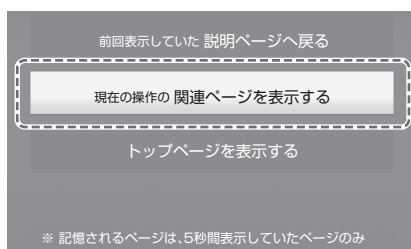
■ ビエラ操作ガイドを終了する

ガイド  を押す。

テレビを操作中に 関連した説明を表示する

今の操作画面に関連した詳しい説明を表示します。（一部表示できない場合があります。）

- (1) 操作中に **ガイド**  を押す。
- (2) 「現在の操作の関連ページを表示する」を選び、**決定**  を押す。



■ エラーメッセージの説明を表示する

画面上のエラーメッセージに  が付いているときは、エラーの詳しい説明を表示することができます。

エラーメッセージ表示中に **ガイド**  を押す。

ビエラ操作ガイド項目一覧

(トップページ)



まずお読みください

ビエラ操作ガイドを使うための操作や情報を記載しています。

- ビエラ操作ガイドについて
- お使いになる前に

テレビを見る

テレビを見たり、番組表を使ったりするための操作を記載しています。

- テレビ放送を見るための準備をする
- テレビ放送を見る
- 番組表の使い方
- テレビ放送の番組を探して見る
- 画面を静止する
- 放送メールやB-CASカードなどの各種情報を見る
- らくらくアイコンで簡単に機能を選ぶ

外部機器をつないで見る、聴く

USBハードディスクやディーガなどをつないで楽しむための操作を記載しています。

- USBハードディスクやビエラリンク対応機器などを接続する
- USBハードディスクに録画した番組を再生・編集する
- 外部機器の入力切替をする
- ビエラリンク(HDMI)の設定をする
- ヘッドホンやイヤホンで聴く
- 接続した外部機器に関する設定をする

など

録画する

録画や録画予約のための操作を記載しています。

- 見ている番組を録画する
- 録画予約をする
- 「予約一覧」画面から操作する
- 録画／予約の機能や動作について
- 番組録画中の画面表示について

ネットワーク

インターネットやお部屋ジャンプリンクなどを楽しむための操作を記載しています。

- ネットワークに接続する
- ネットワークを利用するための接続設定をする
- インターネットに接続してアクティブラを使う
- お部屋ジャンプリンクを使う
- USBハードディスクに録画した番組をダビングする

メディアプレーヤー

写真やビデオ映像、音楽を楽しむための操作を記載しています。

- メディアプレーヤーを使うための準備
- 写真を表示する
- ビデオ映像を再生する
- 音楽を聴く

いろいろな機能を設定する

ビエラをより楽しむための設定操作を記載しています。

- 画面に関する設定や画質を調整する
- テレビの節電機能(エコナビなど)を設定する
- 音声に関する設定や音質を調整する
- 字幕や表示などシステムに関する設定をする
- 制限項目や暗証番号に関する設定をする
- 映像音声テストについて
- ソフトウェア更新や設定をリセットする

など

困ったときは

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせを紹介しています。

- 故障かな!?!の前にご確認ください
- 表示されたメッセージについて確認する
- よくあるご質問(Q&A集)

文字入力について

設定項目によっては、適切な文字や数字などを入力する必要があります。

入力方法には、画面キーボードを使う方式とリモコンボタンを使う方式があります。

文字入力の設定

- (1) を押す。
- (2) 「機器設定」を選び、 を押す。
- (3) 「その他の設定」を選び、 を押す。
- (4) 「文字入力設定」を選び、 を押す。

■入力方法の設定

「入力方法」を選び、 を押す。

- 画面キーボード:

画面上にキーボードを表示して文字や項目を選び、入力します。

- リモコンボタン:

リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

■変換方式の設定

「変換方式」を選び、 を押す。

- 予測方式:

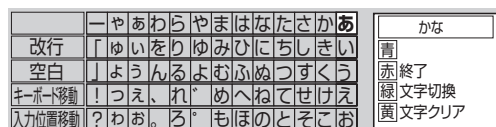
1文字の入力で自動的に変換候補を表示したいときに選択します。

- 通常方式:

読みを入力した後、手動で変換候補を表示したいときに選択します。

画面キーボードを使う

「画面キーボード」を選択すると、入力のときに画面キーボードが表示されます。画面キーボードで文字や項目を選び、入力します。



- キーボードを消すときは、 を押します。
- 画面キーボードの位置を移動させるときは、「キーボード移動」を選び、 を押します。

例)「映画」と入力するとき

- (1) を押して入力文字を「かな」に切り換える。
 • 押すたびに切り換わります。

- (2) で文字を選び、 を押して「えいが」と入力する。

- (3) を押して、 で「映画」を選び、 を押す。



- 変換しないときは を押します。

- (4) を押して確定する。
• キーボードの表示が消えます。

文節を分けて変換するとき

変換候補の文字が表示されているときに で文節を切り換え、 で変換する。



記号を入力するとき

- ① 「きごう」と入力し、 を押す。
- ② で記号を選び、 を押す。

全角の英数字を入力するとき

「英数」モード(半角)で入力し、 で変換する。

文字を追加するとき

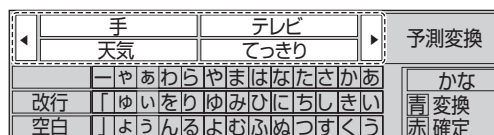
- ① 「入力位置移動」を選び、 を押す。
- ② で追加する位置にカーソルを移動させ、 を押して文字を入力する。

文字を削除するとき

- ① 「入力位置移動」を選び、 を押す。
- ② で削除する文字にカーソルを移動させ、 を押す。

■「予測方式」のとき

- ① 文字を選び、 を押す。
- ② で変換したい文字を選び、 を押す。



- を押すと、一時的に通常方式の変換になります。

リモコンボタンを使う

「リモコンボタン」を選択すると、入力するときリモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力できます。



●各ボタンの対応している文字については、右記の文字入力一覧表をご参照ください。

例)「映画」と入力するとき

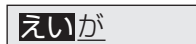
- (1) を押して入力文字を「かな」に切り換える。
- (2) を押す。
- (3) 入力画面で「えいが」と入力する。
 - ①「え」: (4回)
 - ② ・同じボタンの文字を続けて入力するときは、カーソルを右へ移動させます。
 - ③「い」: (2回)
 - ④「が」: (1回) → (1回)
- (4) で「映画」を選び、 を押す。



- (5) を押して確定する。

文節を分けて変換するとき

変換候補の文字が表示されているときに で文節を切り換え、 で変換する。



記号を入力するとき

「きごう」と入力して で記号を選び、 を押す。

全角の英数字を入力するとき

「英数」モード(半角)で入力し、 で変換する。

文字を追加するとき

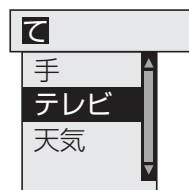
で追加する位置にカーソルを移動させ、文字を入力する。

文字を削除するとき

で削除する文字にカーソルを移動させ、 を押す。

■「予測方式」のとき

文字を入力し、変換候補が表示されたら で変換したい文字を選び、 を押す。



・ を押すと、一時的に通常方式の変換になります。

■文字入力一覧表

ボタン	かな	カナ	英数	数字
	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@ . / : ~ _ # \$ % * + = ^ ` 1	1
	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
	さしすせそ3	サシスセソ3	d e f D E F 3	3
	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
	やゆよゃゅょ8	ヤユヨャュョ8	t u v T U V 8	8
	らりるれろ9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
	、。？！・ () 0	、。？！・ () 0	- . ; ' " ? ! & ¥ () < > [] { } 0	0
	わをんわー發	ワヲンワー發	發	*
	改行	改行	改行	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
(例:「い」を入力するとき を2回押す)
- 未確定の文字があるときに を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点(・)や半濁点(゜)を入力するとき、文字に続けて を押します。

商標などについて

-  マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- HDAVI Control™は、商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Audio、ドルビーオーディオ及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
 - ・ ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)を参照ください。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- Gガイドは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国Rovi Corporationおよびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010-2017

- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- デジタルアーツ／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) オープンソースソフトウェア

上記(3)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細については、本製品の「 → 機器設定 → システム設定 → ライセンス情報 → ソフト情報表示」に記載の所定の条件をご参照ください。

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
- (3) open sourced software.

The software categorized as (3) is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the “ → 機器設定 → システム設定 → ライセンス情報 → ソフト情報表示” menu on this product.



故障かな!?

ビエラ操作ガイドも併せてご確認ください。



ビエラ操作ガイド

「困ったときは」

本機をご使用中にトラブルが発生した場合、お問い合わせの前に以下の手順に従ってご確認ください。

1 テレビをリセットする。

電源プラグをコンセントから抜き、約5秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。

- 本体の電源ランプが赤色点滅する場合は ➡ P. 34

解決しないとき

2 マニュアルを確認する。

(本書とビエラ操作ガイド)

- 電源 / リモコンのトラブルは ➡ P. 33
- その他のトラブルは ➡ ビエラ操作ガイドの「困ったときは」

解決しないとき

3 当社ホームページを確認する。

<http://panasonic.jp/support/tv/>
お客様サポートサイトでは、以下の情報などを掲載しています。

- ・よくあるご質問
 - ・動作確認情報 / 機能情報
 - ・ダウンロード(バージョンアップ情報)
- 本機のソフトウェアが最新でない場合は、サポートサイトに記載されている手順に従って、ソフトウェアを更新してください。

※ 本機をインターネットに接続しているときは、本機のメニュー画面からソフトウェアを更新することもできます。

解決しないとき

4 映像音声テストを実施する。

「映像音声テスト」( → ヘルプ)で、テレビ本体の映像や音声に異常があるかを確認ください。

(異常がある場合は、その状況をお問い合わせの際にお知らせください。)

5 問い合わせる。

お買い上げの販売店または、裏表紙に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

電源 / リモコンのトラブル

● 電源が入らない

- ・ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
➡ P. 16
- ・ 電源コードが本体から抜けていませんか？
➡ P. 16
- ・ リモコンの場合は、本体の電源が「入」になっていますか？
➡ P. 24
- ・ リモコンを本体のリモコン受信部に向けて操作していますか？
➡ P. 24
- ・ リモコンモードが違っていませんか？
➡ P. 23

● リモコンで操作できない

- ・ 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？
➡ P. 23
- ・ リモコン受信部に向けて操作していますか？
➡ P. 24
- ・ リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていませんか？
➡ P. 24
- ・ 受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。本体の電源を「切」にし、再度「入」にしてください。
➡ P. 24
- ・ リモコンモードが違っていませんか？
➡ P. 23

商標などについて / 故障かな!?

必要なとき

本体の電源ランプが赤色点滅する場合

●電源ランプが赤色点滅する (リモコンを操作していないとき)

- 画面が消え、本体の電源ランプが赤色点滅する場合、何らかのトラブルが発生した可能性があります。

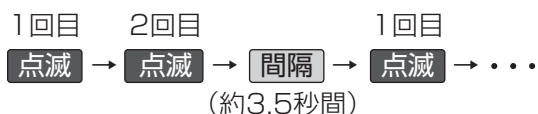
点滅回数をご確認いただき、お買い上げの販売店または、相談窓口までご相談ください。

➡ P. 39

点滅回数の数え方:

例) 2回のとき

2回点滅し、約3.5秒間消灯した後、再度点滅を繰り返します。



以下の場合、故障ではありません

■液晶パネル特有の現象により、画面に赤、青または緑の点が発生場合があります

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99パーセント以上の有効画素がありますが、0.01パーセントの画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

■液晶パネルとキャビネットの間には隙間があります

また、液晶パネルを押すと動いたり、「カタカタ」と音がする場合があります

- 液晶パネルに力が加わらないように遊びを設けていますので、故障ではありません。

■テレビ本体や内部から音が聞こえる場合があります

- テレビから時々、「ピシッ」と音がする
画面や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。性能その他に影響ありません。
- テレビ内部から「カチッ」と音がする
番組表などの情報を送受信するため、本機内部の回路が自動的に動作する音です。
デジタル放送を録画予約したときなど、予約に従い本機内部の回路が自動的に動作する音です。

■テレビの上部や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなる場合があります

- 本体天面や液晶パネル面、キャビネットの温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。(本体の通風孔はふさがないように、ご使用ください)

■リモコンを操作していないときに電源ランプが緑色点滅することがあります

- 本体の電源を「入」にすると、テレビ起動中、電源ランプは緑色点滅しますが、故障ではありません。

取り扱いについて

お手入れについて

■テレビ本体やリモコン

お手入れをするときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 化学薬品が使われていない、乾いた柔らかい布（綿・ネル地・クリーニングクロスなど）でふいてください。かたい布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

- 汚れがひどいときは、ほこりをはらったあと、水で100倍程度に薄めた中性洗剤にひたした布を、かたく絞って軽くふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- 市販のクリーニングクロス（テレビ用）をご使用の際、以下の成分などが記載されているものは使用しないでください。ひび割れなどの原因になることがあります。

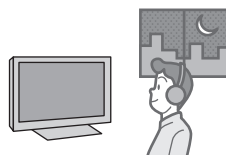
※ 成分表示に流動パラフィンや界面活性剤と記載のあるもの、ウェットタイプ、クリーニング液を使うもの

- 殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、使用しないでください。
- ゴムやビニール製品などは、変質や塗装がはがれる原因になりますので、長時間接触させないでください。
- スプレー洗剤などは、液体が内部に入ると故障の原因になりますので、直接かけないでください。

ご使用になるとき

■適度の音量にして隣近所へ配慮する

- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げると、消費電力や音のひずみも少なくなります。



■見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度、また新聞が楽に読める明るさでご視聴ください。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります そのままご使用になると故障の原因になります

- 部屋の温度になじむまで本体の電源を「切」にしておいてください。（約2～3時間）
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所（湯気が立ち込めている場所など）には設置しないでください。

■虫の入りやすい場所で使用しない

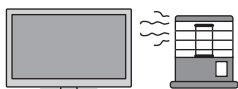
- 内部にクモやアリなどが侵入すると、故障の原因になります。

取り扱いについて (続き)

設置するとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。



■本機を設置するとき

- スタンドの取り付けは、安全に作業するために、指定の手順以外では行わないでください。

➡ P. 10～14

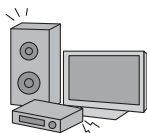
液晶パネル内部の破損の原因となります。

TH-49E300 / TH-43E300

- 必ず2人以上で行ってください。

■機器相互の干渉に注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。



■接続は電源を「切」にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。
(オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器など)

■本機を移動するとき

- 液晶パネル面を上または下にしての移動は液晶パネル内部の破損の原因となります。

TH-49E300 / TH-43E300

- 必ず2人以上で行ってください。

■アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。
映りが悪くなったら、お買い上げの販売店にご相談ください。



■良好な画面で見るために

- アンテナ線は、同軸ケーブルをご使用ください。

■包装箱に入れて本機を運搬するときは、必ず立てた状態で行う

- 絶対に横に倒した状態で運送・移動は行わないでください。パネル面が進行方向と平行になるように運送してください。
- 包装箱が倒れないように手で支えてください。

- トラックなどの荷台に載せて運送する場合は、転倒したり滑ったりしないように固定してください。

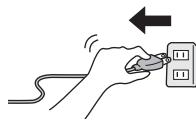
TH-49E300 / TH-43E300

- 必ず2人以上で安定した体勢で運搬してください。

長期間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜く

- リモコンで電源を切った場合
または
本体の電源を切った場合は
約 0.1 Wの電力を消費します。



液晶パネルについて

■残像が発生する場合があります

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

仕様

■テレビ本体

品番

49V型: TH-49E300

43V型: TH-43E300

32V型: TH-32E300

24V型: TH-24E300

種類

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

消費電力

49V型: 113 W

43V型: 99 W

32V型: 69 W

24V型: 47 W

本体電源「切」時 約 0.1 W

リモコンで電源「切」時 約 0.1 W*

※ 機能待機中(電源ランプが橙色点灯時) は、

49V型 **43V型**: 最大約 10 W

32V型 **24V型**: 最大約 8 W

年間消費電力量(スタンダード時)

49V型: 68 kWh/年

43V型: 60 kWh/年

32V型: 42 kWh/年

24V型: 32 kWh/年

区分名

49V型: DF1(FHD、液晶ノーマル、付加機能1)

43V型: DF1(FHD、液晶ノーマル、付加機能1)

32V型: DN1(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能1)

24V型: DK1(FHD以外、液晶ノーマル、付加機能1)

画素数

49V型 **43V型**:

水平 1920×垂直 1080

32V型 **24V型**:

水平 1366×垂直 768

画面寸法

49V型: 幅 107.4 cm×高さ 60.4 cm

対角 123.2 cm

43V型: 幅 94.1 cm×高さ 52.9 cm

対角 108.0 cm

32V型: 幅 69.8 cm×高さ 39.2 cm

対角 80.0 cm

24V型: 幅 52.1 cm×高さ 29.3 cm

対角 59.8 cm

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

49V型:

110.6 cm×68.9 cm×26.0 cm(スタンド含む)

110.6 cm×64.4 cm×8.2 cm(本体のみ)

43V型:

97.4 cm×61.4 cm×24.7 cm(スタンド含む)

97.4 cm×56.9 cm×8.2 cm(本体のみ)

32V型:

73.3 cm×47.8 cm×18.4 cm(スタンド含む)

73.3 cm×43.7 cm×6.9 cm(本体のみ)

24V型:

56.2 cm×40.9 cm×18.0 cm(スタンド含む)

56.2 cm×34.4 cm×6.2 cm(本体のみ)

質量

49V型:

約 14.5 kg(スタンド含む)

約 13.5 kg(本体のみ)

43V型:

約 12.0 kg(スタンド含む)

約 10.5 kg(本体のみ)

32V型:

約 6.0 kg(スタンド含む)

約 5.5 kg(本体のみ)

24V型:

約 5.0 kg(スタンド含む)

約 4.5 kg(本体のみ)

使用電源

AC 100 V 50/60 Hz

表示パネル

液晶パネル、LEDバックライト

49V型 **43V型** **32V型**: IPS方式

24V型: VA方式

音声実用最大出力

スピーカー: フルレンジ 2個

49V型 **43V型**:

20 W(10 W+10 W) JEITA

32V型:

10 W(5 W+5 W) JEITA

24V型:

6 W(3 W+3 W) JEITA

仕様 (続き)

接続端子

NTSC関連

ビデオ入力

映像: 1 V[p-p](75 Ω)

音声: 左・右 0.5 V[rms]

衛星関連

BS・110度CS-IF入力(75 Ω) 兼

衛星アンテナ用電源(DC 15 V)出力

HDMI入力

2系統

本機はヒエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。

HDMI 1端子はARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。

LAN端子

10BASE-T/100BASE-TX

ヘッドホン/イヤホン端子

16~32 Ω推奨

USB端子

1系統

DC 5 V MAX 500 mA

スーパースピードUSB(USB3.0)には対応していません。

受信可能放送

地上デジタル放送*(CATVパススルー対応)/BS
デジタル/110度CSデジタル

※ ワンセグ放送を除く

動作使用条件

周囲温度: 0℃~40℃

相対湿度: 20%~80%(結露なきこと)

■リモコン

使用電源

DC 3 V(単3形乾電池2個)

質量

約 150 g(乾電池含む)

操作距離

約 7 m以内(テレビ正面距離)

操作範囲

左右各 約 30°以内

上下各 約 20°以内

お知らせ

- このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 年間消費電力量: 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
- 区分名: 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。
- テレビのV型(49V型/43V型/32V型/24V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- TH-49E300、TH-43E300は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	お買い上げ日	年	月	日
電話 () -	B-CASカード番号			

※ B-CASカード番号を記入してください。➡ P. 17

お問い合わせのときに必要な場合があります。

- B-CASカードを本機に挿入しているときは、以下の操作でカードID(B-CASカード番号)を確認することができます。

 → 「機器設定」 → 「システム設定」 → 「B-CASカード」

修理を依頼されるときは

P. 33、34「故障かな!？」と、ビエラ操作ガイドの「困ったときは」に従ってご確認いただいても直らない場合は、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-----------------------------|
| ●製品名 | 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ |
| ●品番 | TH- |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

当社は、このテレビの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

■転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙に記載の、ご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただきます。また、発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様／保証とアフターサービス(よくお読みください)

必要なとき

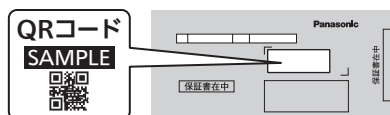
パナソニックの会員サイト「**CLUB Panasonic**」で「**ご愛用者登録**」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理
抽選で商品券などが当たる

詳しくはこちら
<http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書のQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。



お問い合わせについて

まずは、本書のP. 33、34「故障かな!？」と、ビエラ操作ガイドの「困ったときは」をご確認ください。

(ビエラ操作ガイドの使い方は ➡ P. 28)

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>

 VIERA (ビエラ) 使い方・お手入れなどのご相談窓口	 修理に関するご相談窓口
フリーダイヤル  0120-878-981 受付時間 9:00~20:00 (年中無休) ■上記電話番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187 ■FAX フリーダイヤル  0120-878-236 Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	フリーダイヤル  0120-878-554 パナは イイヨ ■上記電話番号がご利用いただけない場合 03-6633-6700 ■FAX フリーダイヤル  0120-878-225 便利な修理サービスサイト http://club.panasonic.jp/repair/

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

愛情点検	
	長年ご使用のテレビの点検を！ テレビセットを長期ご使用になりますと、内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって故障する場合があります。
こんな症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。
	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

廃棄時にご注意
願います！

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

パナソニック株式会社 テレビ事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2017